

## 2025年度 看護職員負担軽減計画

分野	項目	具体的な実施内容 (Do)	担当部署	期限	年度末達成度
A.夜勤負担軽減	①シフト管理とインターバル	□ 勤務間インターバル（11時間以上）の確保	各病棟	通年	
		□ 夜勤専従者の活用と日勤者とのマッチング	師長		
		□ 「早出・遅出」等、多様な勤務形態による夜勤帯前後の業務分散	看護部		
B.タスク・シフト	②看護補助者（ナースエイド）活用	□ 療養・地域包括ケア病棟：食事・入浴介助、リネン交換、環境整備の補助者への移管	看護部	4月～	
		□ 看護師と補助者のペアリング制（協働）の強化			
		□ メッセンジャー業務、検体搬送の移管			
	③他職種への業務移管	□ 薬剤師：配薬セット、注射薬ミキシング、残薬管理の完全実施	薬剤科	順次	
		□ 事務職：入退院時の書類説明、オリエンテーションの一部代行	クラーク科		
		□ 委託：清掃、医療廃棄物処理の外部委託範囲の適正化	総務課		
C.ICT・効率化	④記録・連絡の効率化	□ バイタル測定機器と電子カルテの連動（転記廃止）	総務課	下期	
		□ スマホ連動電子カルテの活用による動線短縮	看護部		
		□ 看護記録のテンプレート（スタンプ）化・チェックリスト化	看護部		
D.待遇改善	⑤多様な働き方・両立支援	□ 妊娠・育児・介護中の職員への夜勤減免措置	総務課	通年	
		□ 院内保育所の活用促進			
		□ 時間単位年休の取得推奨による柔軟な勤務			